

# フィンランド語：重箱の隅① 目的語の謎（1）概要

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



# 参考資料

**Hakulinen, Auli, Maria Vilkuna, Riitta Korhonen, Vesa Koivisto,  
Tarja Riitta Heinonen ja Irja Alho. 2005. *Iso suomen kielioppi*.  
Suomalaisen kirjallisuuden seura. 881-899.  
(*Ison suomen kieliopin verkkoversio*.  
[<https://scripta.kotus.fi/visk/etusivu.php>])**



# 目的語に関する個人的な考え

- 翻訳をめざすのであれば、目的語の理解は重要かもしれない。

Hän söi **puuron**. / Hän söi **puuroa**.

Hän ampui **karhun**. / Hän ampui **karhua**.

- 通常の学習者は目的語の形について考えすぎないのが得策。目的語について悩む時間があれば、単語や表現を覚えた方がよい気がする。



# 「対格」という語の意味 (1)

①属格や主格の形をした目的語を「対格」と呼ぶことがある。

**Kirjan** hinta on 10 euroa. [属格]

その本の値段は10ユーロだ。

Hän luki **kirjan**. [対格] あるいは [属格・対格]

彼はその本を読んだ。

**Pyörä** on tuolla. [主格]

自転車はあそこにある

Osta **pyörä**! [対格] あるいは [主格・対格]

自転車を買いなさい。



# 対格目的語と分格目的語

## 対格目的語

Ostan **pyörän**.

私は自転車を買う。

Osta **pyörä!**

自転車を買いなさい。

Ostan **pyörät**.

私はそれらの自転車を買う。

## 分格目的語

Ostan **maitoa**.

私は牛乳を買う。

Osta **maitoa!**

牛乳を買いなさい。



# 「対格」という語の意味 (2)

②人称代名詞と kuka 「誰」 は「対格」の形をもつ。

nominatiivi	genetiivi	akkusatiivi	partitiivi
minä	minun	minut	minua
sinä	sinun	sinut	sinua
hän	hänen	hänet	häntä
me	meidän	meidät	meitä
te	teidän	teidät	teitä
he	heidän	heidät	heitä
kuka	kenen	kenet	ketä



# 「対格」という語の問題 (3)

①における「対格」は文の中での働きにもとづく名称、つまり「目的語」の役割を果たしていることを示す名称（統語論的名称）。


**kirjan**「本の」 [属格] / **kirjan**「本を」 [対格]

②における「対格」は、「属格」や「分格」という名称と同じく格の名前（形態論的名称）。

③紛らわしいので、「対格」という用語は②の意味でだけ使用すべきだという考え方があある。



# 目的語の全体像

Totaaliobjekti (全体目的語)	Partitiiviobjekti (部分目的語)
<p>① <b>genetiivi</b> (属格) [単数のみ] Ostan <b>pyörän</b>.</p> <p>② <b>nominatiivi</b> (主格) [単数/複数] Osta <b>pyörä!</b> Ostan <b>pyörät</b>.</p> <p>③ <b>akkusatiivi</b> (対格) [7語のみ] Vien <b>sinut</b> kotiin.</p>	<p><b>partitiivi</b> (分格) [単数/複数] Ostan <b>maitoa</b>. Ostan <b>pyöriä</b>.</p> 



# 全体と部分の対立 (1) 目的語の名詞

- ①目的語となる名詞が何かの  
「全体」か（＝明確に限定されたものか）、  
それとも  
「部分」か（＝明確に限定されていないものか）。

Ostan **pyörän**. 私は自転車を買う。 [全体／定]

Ostan **maitoa**. 私は牛乳を買う。 [部分／不定]



Söin **puuron** kokonaan. [全体／定]  
「(その) お粥を全部食べた。」

Söin aamulla **puuroa**. [部分／不定]  
「朝はお粥を食べた」

Ostin **kirjat**. [全体／定]  
「(それら何冊かの) 本を買った。」

Ostin **kirjoja**. [部分／不定]  
「(何冊か) 本を買った。」



# 全体と部分の対立 (2) 動詞の行為

- ②動詞の意味する行為の「全体」が  
「完了す」るのか（＝結果を引き起こすのか）、  
それとも  
「未完了」なのか（＝結果を引き起こさないのか）。

Ostan **pyörän**. 私は自転車を買う。 [全体／完了]

Ostan **pyörää**. 私は自転車を買おうとしている。  
[部分／未完了]

Luin **kirjan**. [全体／完了]

「本を読んだ。」

Luin **kirjaa**. [部分／未完了]

「本を読んでいた。」

Ammuin **karhun**. [全体／完了]

「熊を撃った（そして仕留めた）。」

Ammuin **karhua**. [部分／未完了]

「熊を撃った（そして?）。」



# 次回の予告

## ●目的語の謎 (2) 名詞の「定性」

- 分けられる名詞と分けられない名詞
- 「定」と「不定」の違いと目的語の格

